

# INSネット デジタル通信モードの 円滑な移行に向けた取組みについて

---

平成28年6月15日  
日本電信電話株式会社  
東日本電信電話株式会社  
西日本電信電話株式会社

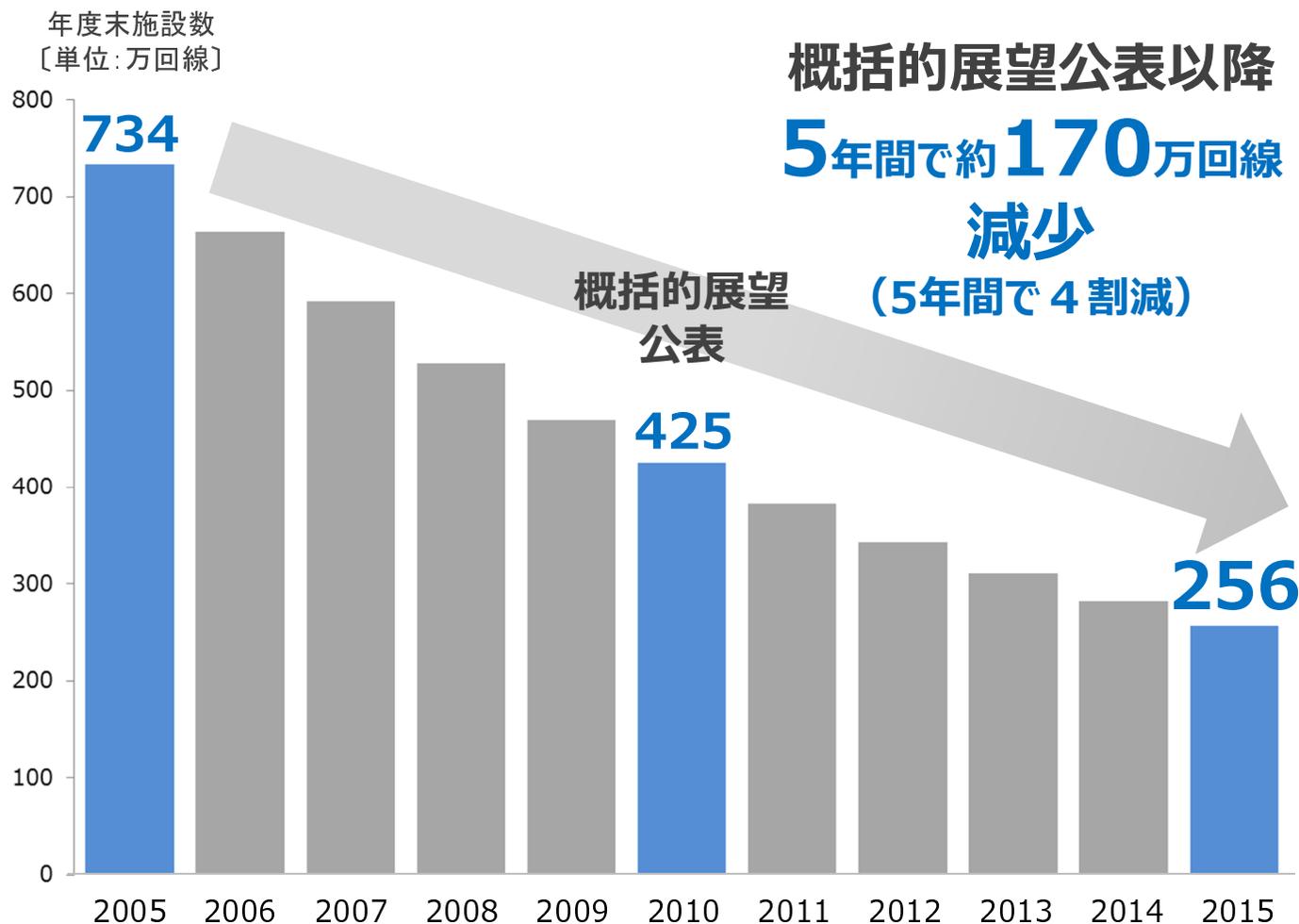
# はじめに

- 2010年のPSTNマイグレーション「**概括的展望**」において、INSネットはPSTNマイグレーションに合わせて提供を終了する考えであることを公表しました。
- 公表以降NTT東西は、まずは利用が多いと想定される**企業・業界団体・端末メーカー・Sler**の方々より順次、提供終了のご説明や利用実態の把握を行い、利用者環境に応じてIP化の提案を実施してきました。
- 利用者環境のIP化については、お客様の**端末更改タイミング**を捉えて進めているところですが、一方で一部のお客様・業界団体等から、事前の説明不足や代替手段に関するご不安等のご意見をいただいています。
- 今後、利用者環境のIP化の提案を引き続き進めていくとともに、これまでいただいたご意見等を踏まえ、個々のお客様の利用環境に応じた代替手段の充実や具体的なサービス終了時期・公表時期の明確化の検討を行っていく考えです。
- 本日は、現時点での対応状況や今後の取組方針等に関して、ご説明いたします。

# INSネット デジタル通信モード利用状況

- 概括的展望公表以降の5年間でINSネット契約数は約170万契約減少し、256万回線
- 約15万回線がデジタル通信モードを発信利用

## INSネット契約数推移



INSデジタル通信モード  
当社請求ユーザ  
約15万回線※  
(他社請求分除く)

※当社で確認した2014年6月～2015年8月の期間にINSネットデジタル通信モードの発信利用（当社からの料金の請求による把握）があった回線数（デジタル通信モードはINSネットの基本機能であり、事前契約等は不要）

# これまでのお客様対応状況

- 概括的展望公表以降、関係する業界団体やベンダ・大規模法人ユーザを訪問し、サービス終了予定時期のお知らせや利用用途把握を行い、利用者環境のIP化を進めてきました。

## 対応内容

### ■対応先

大規模法人  
(約7千社)

業界団体  
(12団体)

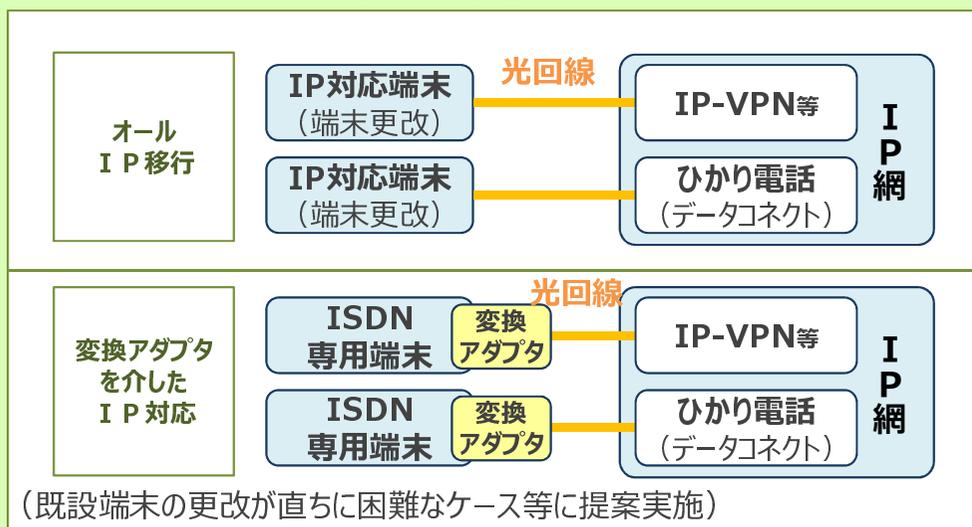
端末メーカ  
(9社)

SIer  
(4社)

### ■対応内容

- ・ 終了予定時期（2020年度後半）をお知らせ
- ・ ISDN専用端末等のライフサイクルに合わせたIP網への移行をご提案

### <IP網への移行方法>



※モバイルデータ通信に移行するケースもあり

## 対応状況・ご要望

### 対応状況

- 端末のライフサイクルに合わせてオールIP移行を主軸に提案し、順次移行中
- 変換アダプタを介したIP対応を提案したケースについても、順次移行中  
(これまで検証を実施した端末の正常動作も確認)

### これまで寄せられた主なご要望

- 終了時期や移行スケジュールの早期公表
- 十分な端末更改期間  
(サービス終了時期の後ろ倒し)
- 利用者環境を変えずに利用できる代替手段の提供 (光未提供エリアや工事納期等への対応)
- 検証環境の提供
- 問合せ窓口の設置、全ユーザへの周知

# 円滑な移行に向けた検討課題と対応の方向性

## 検討課題

■ 終了時期等の早期公表

■ 十分な端末更改期間

■ 利用者環境を変えずに利用できる代替手段の提供

■ 検証環境の提供

■ 利用者対応の充実

## 対応の方向性

I. **終了時期（2020年度後半予定）の後ろ倒しを検討し、その結果を踏まえ、できる限り早期に時期を確定し公表**

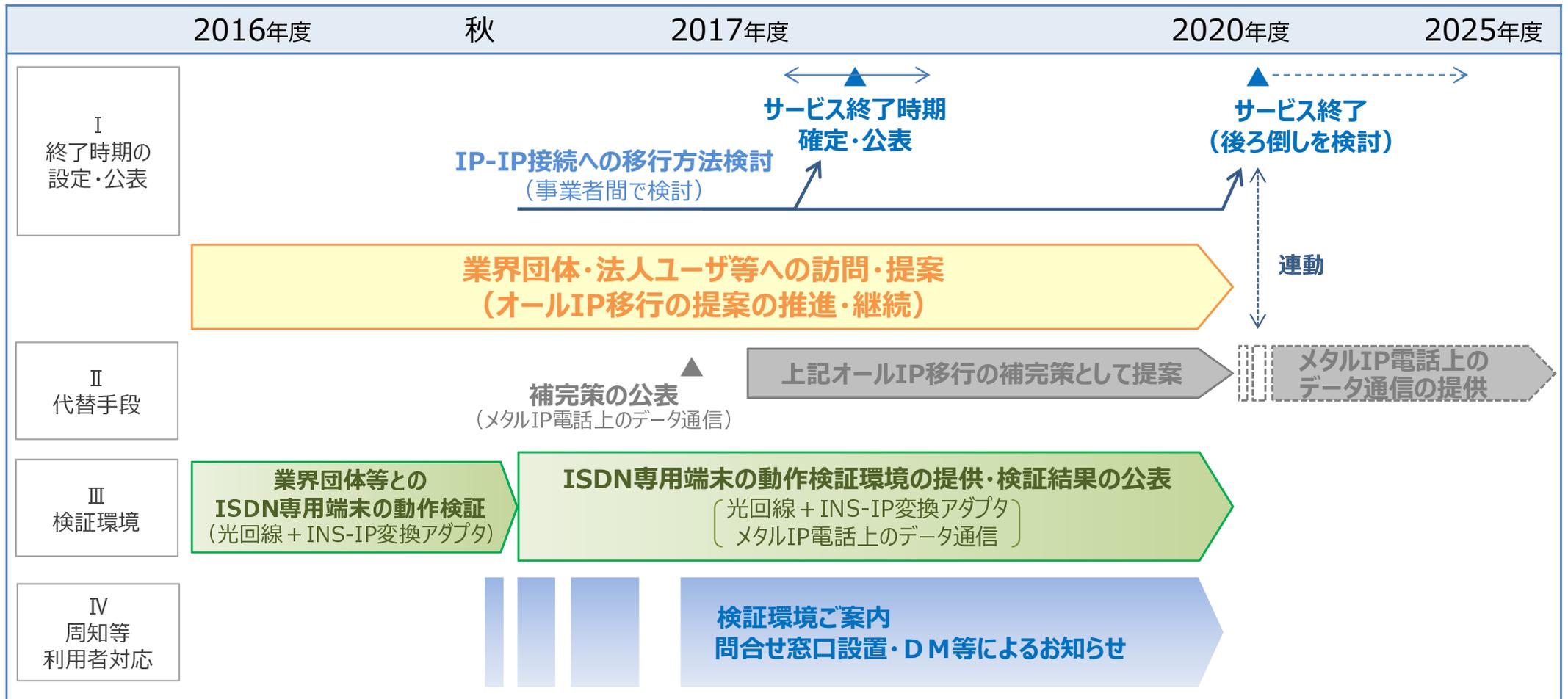
II. これまで実施してきた光回線によるオールIP移行の提案等を継続するとともに、円滑なIP網への移行を促進するため、当面の対応策（補完策）として、  
**ご利用中のISDN専用端末のままIP網へ移行可能な「メタルIP電話上のデータ通信」の提供を検討**

III. 光回線によるINS-IP変換アダプタを介したIP対応の検証に加え、**「メタルIP電話上のデータ通信」の検証環境を構築・提供**

IV. **全てのお客様へのお知らせ・問合せ窓口設置**

# 円滑な移行に向けたロードマップ

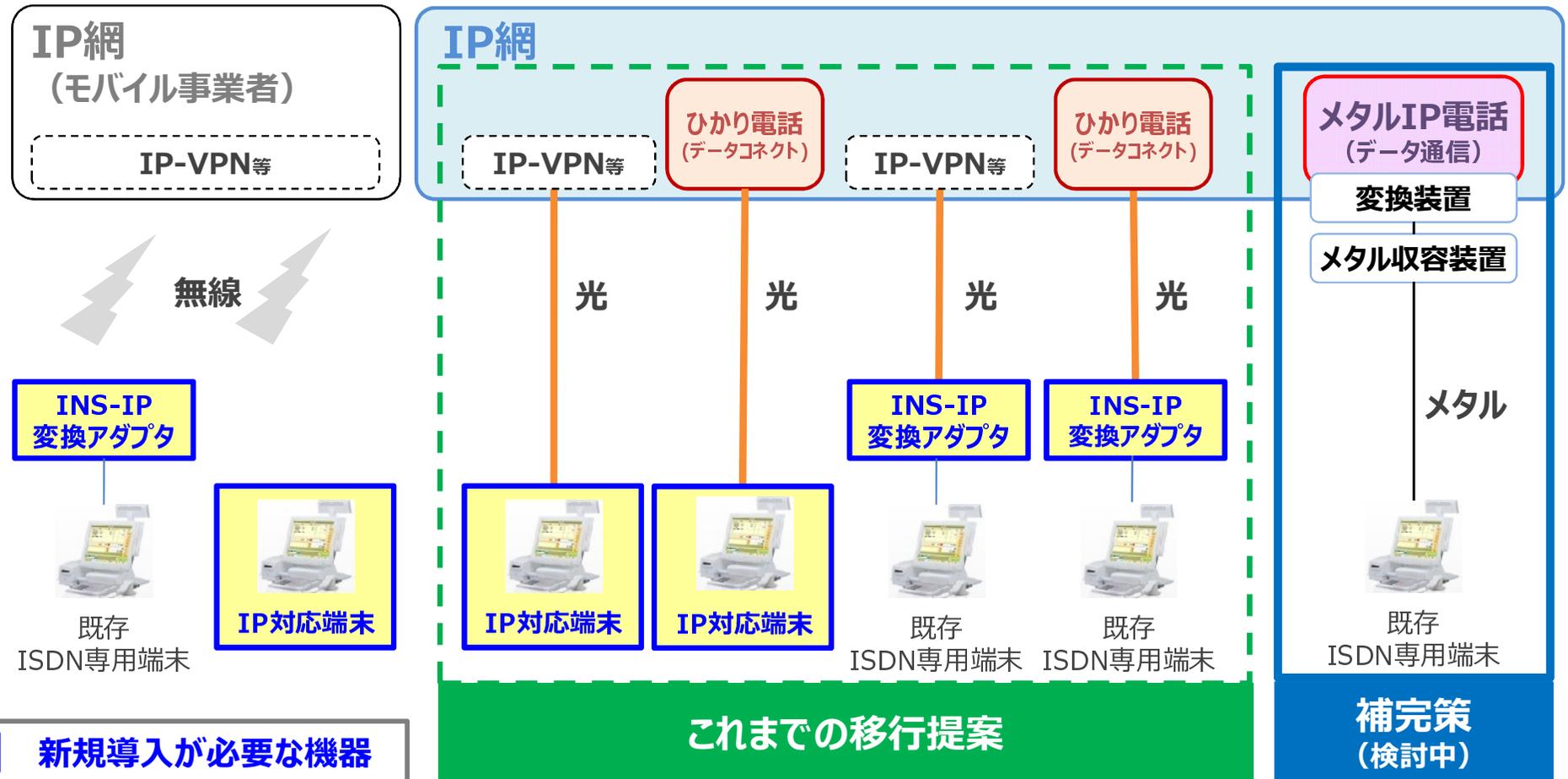
- デジタル通信モードの終了時期については、事業者間接続のIP-IP接続への移行方法や移行スケジュールの検討結果を踏まえて、できる限り早期に時期を確定し、公表していきたいと考えています。
- 光回線によるオールIPへの移行提案に加え、当面の対応策(補完策)として「メタルIP電話上のデータ通信」の検討を進める考えです。
- また、今後、代替手段の検証環境を提供するとともに、全てのお客様を対象とする問合せ窓口を設置する等、お客様対応を充実していく考えです。



# 代替手段について

- 端末等のライフサイクルに合わせたオールIP移行を主軸に提案
- 光未提供エリアのお客様やデジタル通信モード終了時期までの端末更改が困難なお客様に、当面の対応策(補完策)として、「メタルIP電話上のデータ通信」の提供を検討

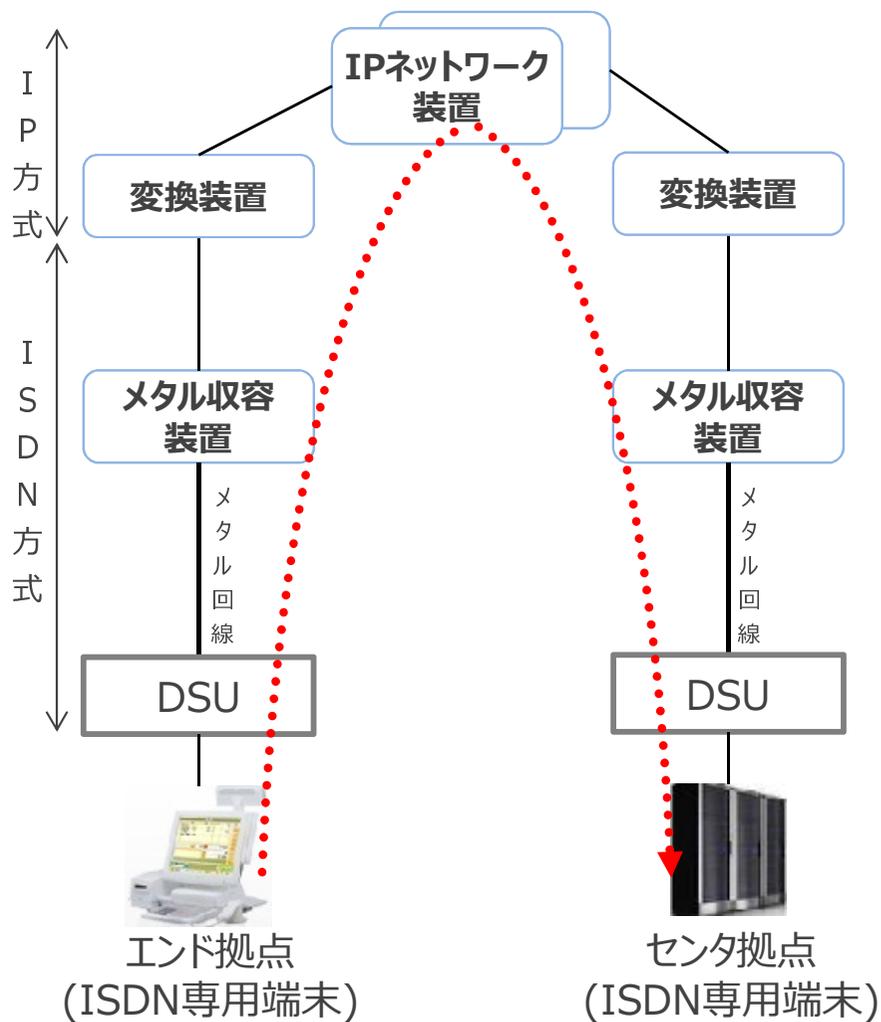
回線	無線	光		メタル
端末	INS-IP 変換アダプタ増設	端末更改(IP対応)	INS-IP変換アダプタ増設	既存機器利用



# 検証環境の準備・提供

- これまで実施してきた光回線によるINS-IP変換アダプタを介したIP対応の技術検証に加え、「メタルIP電話上のデータ通信」の技術検証を可能とする環境を早期に構築(2016年秋予定)
- お客様・業界団体等が自ら技術検証可能な環境を提供するとともに、NTT東西でも端末メーカーから端末を借りて検証を進め、その結果を公表していく考え

## <検証環境イメージ>



検証内容	お客様のISDN専用端末を用いた端末の継続利用可否の確認 ※BRI/PRI <sup>[注]</sup> のインターフェース規格に対応
検証場所	首都圏 (予定)
検証期間	端末 1 機種あたり 1 週間程度を想定
検証実施対象ユーザ等	INSネットご利用ユーザ、ISDN専用端末メーカー、SIer、業界団体等
提供時期	2016年秋 (予定)
備考	・検証申込受付窓口を東西それぞれに設置 (予定) ※これまで実施してきた光回線によるINS-IP変換アダプタを介したIP対応の技術検証についても、継続実施

【注】 BRI (Basic Rate Interface) : 国際電気通信連合 (ITU-TS) が標準化した、ISDN回線のインターフェース規格。通信速度は144kbps  
PRI (Primary Rate Interface) : 国際電気通信連合 (ITU-TS) が標準化した、ISDN回線のインターフェース規格。通信速度は1.544Mbps

